

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 平成 30 年 10 月 25 日 (木) 午後 7 時～午後 8 時 30 分
場 所 三保野分館 (みほの町会)
参加者数 16 人



主な意見等

参加者 商店街から苗間神明神社に向かう、長沢外科胃腸科前の交差点ですが、苗間みほの公園ができたことで、道路の真ん中にポールが立てられ、変則的な形になっています。車が多く通り危ないので、交差点に信号を付けてもらえないでしょうか。

市 長 ご指摘の交差点は、公園を整備するためにあのような形にしました。信号の設置を管轄する公安委員会に要望して参りますが、信号は 2 市 1 町の警察署管内で年に 1～2 カ所設置されるかどうかという状況です。路面標示や周知看板等の安全対策を施していきたいと思っています。

参加者 苗間神明神社前の道がつながると交差点の形状がどうなるのか、いつごろ完成するのかについて教えてください。

市 長 大井陸橋と交差すると交差点が 2 カ所になってしまい、信号機の位置をずらさなければいけないということで、警察と協議を行っているところです。

いつ頃になるかは、土地の買収など相手がある話なのではっきり

したことは申し上げられません。

参加者 このあたりの住宅街は、道路が狭いにもかかわらず、通っている車のスピードが速くて危険です。特に、ごみ収集車について前回のタウンミーティングでもお話ししましたが未だにスピードが出ているので、再度指導していただけないでしょうか。

市長 周知看板など、なんらかのスピードの抑制策を施したいと思います。ごみ収集車については、担当課を通してすぐに指導いたします。

参加者 町会長宛に、市役所から毎日2～3通の資料が送られてきます。できれば月2回程度にまとめてもらえないでしょうか。

また、行事や会議への参加依頼などもありますが、通知が来てから回答までに10日程度しかないこともありました。特に10月・11月は、イベントが多い時期で、日程の調整が難しいです。時期をずらしたり早めに通知したりするなどの配慮をお願いします。

市長 市からの文書は、なるべくまとめるように各課には伝えていますが、さまざまな事情により、ばらばらになることはあるようです。なるべく取りまとめをするようにして参ります。

ご参加をお願いする案内文等についても、迷惑をおかけしております。できる限り配慮するように注意して参りたいと思います。

参加者 このあたりは住居表示ができておらず、住所がバラバラで家が非常に分かりにくいです。現在、市役所に住居表示課はないようですが、行政サービスを進めていくうえでも、市全体に住居表示が必要だと思えます。

反対する人も居ると思いますが、ぜひ行政が主導して進めてください。5年、10年とかかっても構いませんので、政策として取り組み、何年ごろまでにやるということを示してほしいです。

市長 このあたりでは、同じようなご意見をよく聞きます。私たちも住所の番地を言われても分からないような状態です。

現在、具体的に住居表示を進めようとしているという状況ではありません。しかし、郵便配達の方でも分からなくなるということも聞きますので、おそらく早く整理してほしいという声は多いと思いま

す。タウンミーティングでもご意見をいただいたということで、再度議論していきたいと思えます。

参加者 高齢化が進み、全国的に訪問介護の人材不足が深刻化し、ふじみ野市も例外ではないと思えます。隣の富士見市では「介護職員初任者研修」という資格取得の講習会を市が開催しているようです。

ふじみ野市でも同様の講座をおこなっているか市役所へ問い合わせたところ「おこなっておらず今後もやる気はない」と言われました。その場では、「やる気がないとは何事だ」と意見を言わせてもらいましたが、市としてこれからどのような形で人材を確保しようとしているのかを教えてください。

事務局 確認したところ、実際に資格が取れる講習を富士見市高齢者福祉課が実施しているようです。テキスト代のみの費用負担で、参加条件としては研修終了後に市内介護事業所での就労が可能であることのようにです。

市長 介護従事者を少しでも確保していくという意味では良い取り組みだと思います。しかし、他の方々の税金を使い市内の介護事業所で働く人の資格取得を手伝うことになるため、これが本当に望ましいことなのかというのは微妙なところだと思います。

介護全体のことで言うと、富士見市とふじみ野市では人口や高齢化率、施設数がほぼ同じ状況ですが、ふじみ野市の方が地域区分の等級が高く、介護報酬が高い状況です。そのため、介護給付の費用負担が高くなりますが、介護従事者にとっては報酬が高くなるため、他市町村に比べれば介護従事者を集めやすいという状況ではあります。

サービスを受ける側としても介護保険料の基準額がふじみ野市は4,650円程度ですが、富士見市は5,000円を超えています。介護は3年間で1期とした計画で、現在第7期の1年目を迎えており、今後3年間は金額が変わりません。

8期へ移る際も基金があるため基準額の上げ幅は小さくて済むと思われます。実際に6期から基準額は変わっていません。本当は少しずつ上げて負担を少なくしておきたかったのですが、県の主導により基金があるため上げないことになりました。富士見市の場合は、基金の額がふじみ野市と全然違うので厳しい状況なのではないかと思えます。

働く側もサービスを受ける側もみんなが良い状況になれるようにしていくことが大切だと思いますので、今のご意見を参考にして進めていきたいと思ひます。

参加者 苗間神明神社の前からみほの幼稚園の前を通る道路について、車が通るわりに道幅が狭く、歩行者は排水溝の蓋の上を歩いています。排水溝の蓋が老朽化しガタガタしています。自転車や車同士ですれ違う場合も蓋の上を通らないといけない状態で、夜中も車が多く通るためうるさいです。

以前から市役所に相談していますが、予算に限りがあるので一度に全ては補修できないと言われました。お年寄りや子どもも通る道ですので、早めの補修をお願いします。

市長 貴重なご意見ありがとうございます。地域にお住まいの方が一番地域の実情をご存知だと思いますので、その声を少しでも活かせるように頑張ってまいりたいと思ひます。

参加者 市内の放課後児童クラブは4年に一度指定管理者を選定されると思ひますが、そのことに関して2点伺います。

1つは、選定委員が学識経験者や市の関係者で構成され、保護者や地域住民が入っておらず、プレゼンテーションの場も公開されていません。保護者も参加し、保護者から質問をしてその回答をみて選定に加味するといったことはできないでしょうか。そうすることで、保護者の理解や愛着が深まると思われるので選定委員に地域住民や保護者を含めてほしいと思ひます

もう1つは、そもそも4年に一度指定管理者を変えないといけないのでしょうか。せっかくできた先生と子供の間を4年で分けるのは勿体ないのではないのでしょうか。特に評判も良く問題ないのであれば非公募としたり、随意契約で更新したりする方法も取れるのではないのでしょうか。

市長 指定管理者の選定に関しては、行政における手続きの手法です。他の自治体のやり方などはあると思いますが、ふじみ野市としては現在の手法をとらせていただいています。

お子様をお預かりしている以上、安心安全を第一に考えていかなければなりません。親御さんたちに何かを隠したりするつもりはあ

りませんが、公平性は担保した中でプロポーザルを行っているので行政を信じていただければと思います。

参加者 親水公園と弁天の森に、駐車場や駐輪場を設けることはできないでしょうか。以前あった駐車場・駐輪場が閉鎖され、現在は車も自転車も止めるところがありません。近隣の方から駐車してほしくないという意見があるとは思いますが、遠くから訪れる方には必要だと思います。

このことについて、一度市に問い合わせたことがありますが「話は分かりますが、そのような意見はホームページから意見を投稿してください」と言われました。果たして本当に市長が目を通すのかという疑問があります。

市長 以前駐車場として確保していた砂川掘の暗渠は、市ではなく県の管轄でした。近隣の方にお問い合わせをしながら使わせていただいていたのですが、使い方が目に余るということで閉鎖することになりました。車の出入りが毎日のこととなると、近隣の方はつらい状況でもあると思います。

自転車については、置き場所を決めないとどこにでも止められてしまうので、せめて駐輪場だけでもなんとかできないかと考えております。本件は課題として挙げておきたいと思いますが、車については簡単にはいかないと思います。

また、ホームページをはじめ、市政への提案として挙げていただいた意見については、すべて見させていただいております。